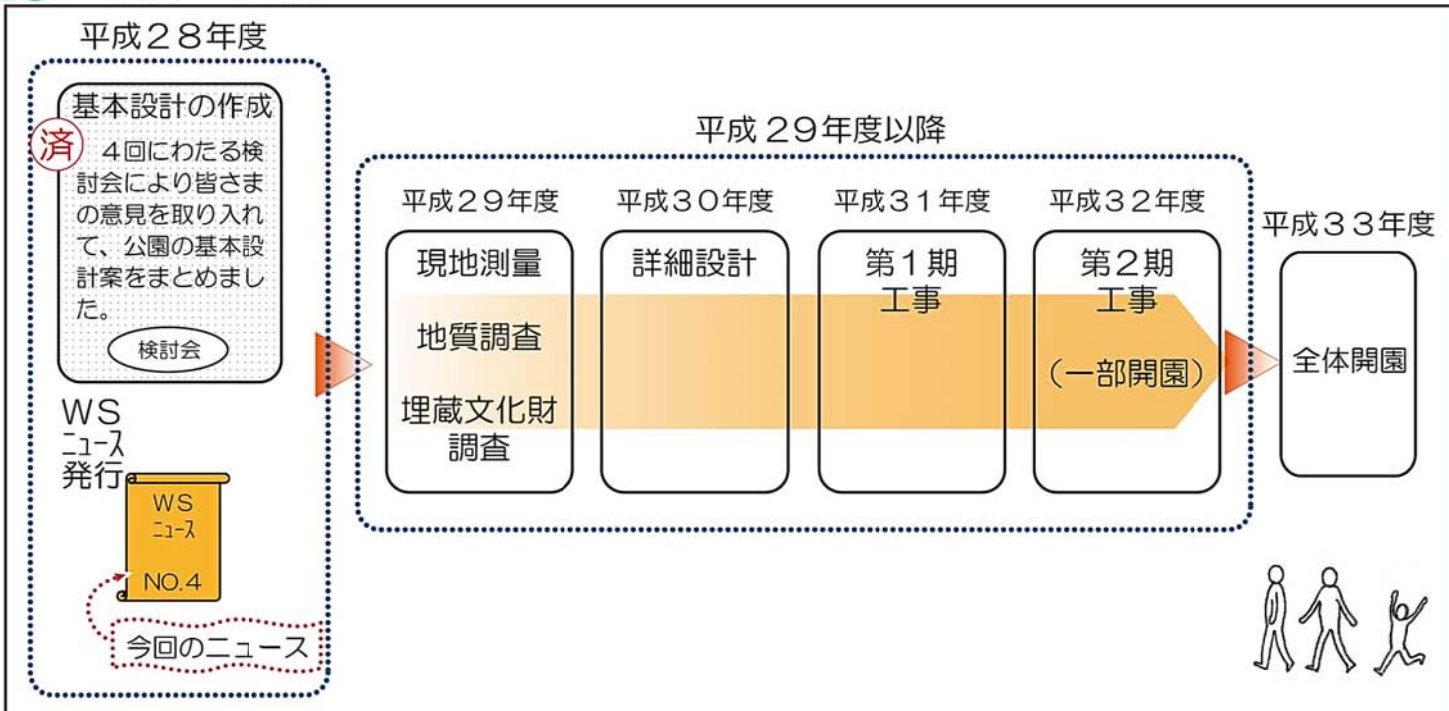


アンケートのご意見

- 今後のスケジュールを知りたい。
- 水の流れる公園が地元でできるという楽しみができた。広場で遊ぶことがなかなかできない子供たちに広場を提供することで、その広さを活用した遊びが創造できたと感じた。
- 集会所としての機能を残す半屋外空間、パーゴラと倉庫を一緒に設置できたらよい。駐車場は8台のままで有料化もよいのではないか
- 難しい問題がたくさんあった。これからはいろいろな意見を言っていきたい。地域の人々が利用しやすい公園にするために。
- 植生について、これからはこのような集まりをつくってほしい。5年先10年先ではなく、次の世代に残せる公園にしたい。
- もう少し時間がほしかった。研修室はぜひ実現してほしい。
- 世田谷の例がだされましたが、施設の整った地域と比べてもこの地域は公民館もコミュニティ施設も全然ないため困っている。ぜひ集会所をつくっていただきたい。どうしても無理であれば、小塚山研修所を改修して使えるようにしていただきたいと思います。地域の人たちがボランティアとして管理運営にたずさわっていくためにもコミュニティーセンターは必要であると考えています。
- 目的がわからなくなった。小塚山、堀之内貝塚、アスレチック一体で考えてください。
- 本日は世田谷の三宿の例が紹介されていました。各地で失われた地域を取り戻す作業、試みが行われようとしているのだということと、私たちは知らないところ、紹介いただけただけが良かった。子供たち、今の大人が小さかった頃のこと、今回すごく意識することができました。構成メンバーの方たちが実際にここで遊ばれてきたからです。まだ私たちの元気な時に、子どもたちが私たちと同じように自然に触れ、大人になっていく大切な時期を、ゲームソフトでなく自然に是非触れる空間を残してあげたいと思います。
- 子供たちが集まってくるためにも水は一つのキーワードになるのでは。ホタル・トンボ・魚・蝶・セミ等の虫が多くあれば、自然に集まってくるのではないかと。そうすると、父母・祖父母等も集まってくることに。

今後の予定



【お問い合わせ先】

株式会社あい造園設計事務所 電話：03-3325-6660 ファクシミリ：03-3325-6262

【事業担当課】

市川市水と緑の部公園緑地課 電話：047-712-6367 ファクシミリ：047-712-6365

「小塚山公園拡充予定地の整備を考える会」 ワークショップニュース

発行/市川市水と緑の部公園緑地課
 編集/(株)あい造園設計事務所
 発行日/平成29年 2月21日

No.4

小塚山公園拡充予定地の整備プランについて、平成14年に地域の皆様のご意見をいただきながら検討いたしました。

今年度のワークショップは、周辺自治会から応募いただき、当時の計画案をもとにして、周辺状況の変化などを考慮しながら、基本計画の見直し及び基本設計を行ってきました。計画案がまとまりましたので、ご報告します。

ご報告

1月20日(金)に第4回ワークショップを開催しました!

メンバー19人の参加のもと、前回のワークショップで出された意見を踏まえてまとめた基本計画案について報告したあと、グループごとに将来管理などに留意しながら計画案の確認を行いました。



※ 詳しくは、2～3頁をご覧ください。

市川市からの事前説明事項 (これまでのワークショップを踏まえて)

ワークショップ開催にあたり、市川市より今年度のワークショップの趣旨、各要望への市の考えを説明しました。

【今年度ワークショップの趣旨】

- 平成14年に開催したワークショップから時間が経過しており、地元の意見を改めて整理したい。
- 詳細設計に入る前段階なので、公園整備の様々な制約(構造、予算等)を踏まえた「現実的な基本設計図」にしたい。

【エコブリッジについて】

- エコブリッジ北側住宅への圧迫感を軽減するため、位置を可能な限り(約5m程度)東側に移し、エコブリッジからの目線も植栽面などにより配慮した。

【駐車場について】

- これまでのワークショップでは「いらない、台数は少なくてよい」という意見が多かった。
- 市としては公園の規模、周囲の公園、路上駐車の問題を考えると、駐車場は必要であると考えており、また本来なら駐車台数8台でも少ないと考えているが、皆さまの意見も考慮し、最低限8台は確保したい。

【集会施設について】

- 地域の集会施設がないので、公園内に集会施設がほしいという意見が多かった。
- 市としては現在の小塚山研修所、新たな拡充予定地には費用面の問題から、管理人の配置予定はない。また、特殊な目的の公園ではないため、ビジターセンター等は整備しない。
- 近隣の集会施設の利用率が低いから、新たな集会施設整備の予算要望も難しい。
- 集会施設の整備は難しいが、集会可能な休憩所と倉庫を併用した施設を提案したい。
- 自治会による集会施設設置の場合は、市から補助金がでるので活用してほしい。

第4回ワークショップで話し合われた内容をお知らせします

水の導入・原風景の再生

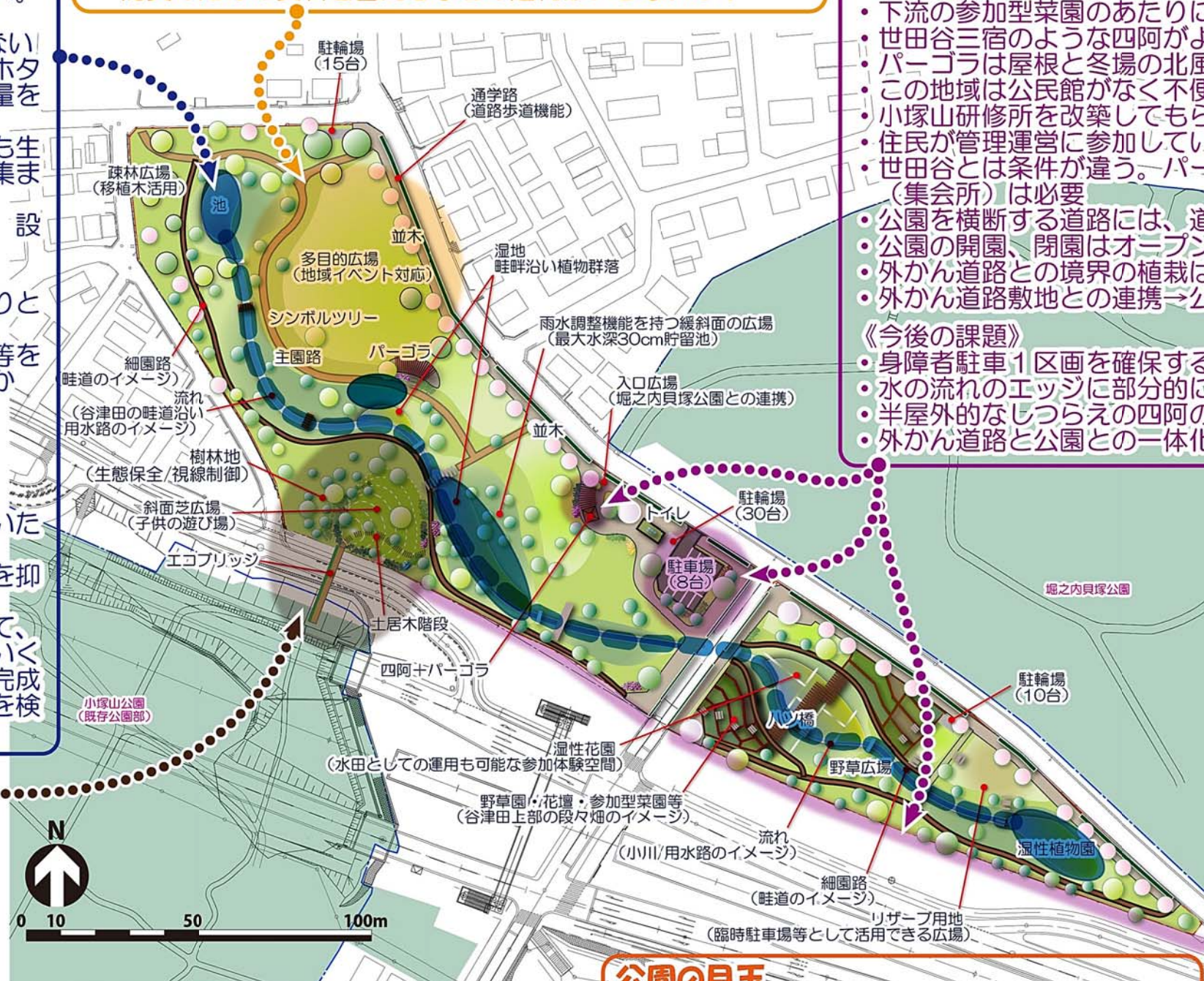
- 《WSでの意見》
- 湿地を残す
 - 井戸水の可能性も残しておく
(周辺地域の水量も減ってきている)
 - 原風景の再生には水が重要
(水量・流路の形)。水量が少ないと原風景が再現できないのでは？
 - 元々は谷地形で水が集まりやすい。乾くことはないのでは
 - 今の湧水量(北総線の湧水)は少ない
 - じゅんさい池公園の流量ならばホテルが生息できるのでは。池の流量を参考に工夫してほしい
 - 自然な流れにすることでホテルも生息できる→ホテルを対象に人が集まり活動できる
 - ホテルを復活させたいので施設、設備がほしい
 - 蚊の問題など安全も含めて
 - 洗い出しコンクリートでがっちりと囲わないでほしい
 - 遮水シートは漏水しにくい粘土等を利用した自然のものにできないか
 - 猛禽類は今後どう保護するのか。カメラマンが増えるのでは？
 - 生物のパトロールをする
- 《今後の課題》
- 部分的に流れの底に粘土等を用いた構造を検討する
 - 詳細設計時に、富栄養化の進行を抑制する検討をする
 - 流量が減ってきた場合を想定して、井戸水の可能性も今後検討していく
 - ホテルの復元については、公園完成後の状況を踏まえ、可能な対応を検討していく

広場空間・防災空間・災害時の活用

- 《WSでの意見》
- 管理は市民ボランティア/市にもある程度は管理してほしい
 - 芝生広場は全面芝生でなくともよい。(芝は手間がかかる) 草原もよい
 - 芝生に農薬を使用しないでほしい
 - 地域のイベントにはあまり利用されないのでは？
(他の場所がある)
 - 防災のための食料を蓄えるなどの建物はいらないか？

施設

- 《WSでの意見》
- 駐車場の台数は多数決で決めたらよい。もう少し議論してほしい
 - 既存の小塚山公園やアスレチック等を考えると、8台では足りない
 - 計画地と堀之内貝塚公園をつなぐ生き物のための通路が必要
→今後市に提案していく
 - 流れの東側にももう少し樹木があってもよいのでは
 - 少し大きめの四阿(屋根・ベンチ) + 倉庫は作業やボランティア活動のため必要。四阿に壁や仕切りを設置することで、半屋外的な空間に
 - 下流の参加型菜園のあたりに四阿やパーゴラの設置
 - 世田谷三宿のような四阿がよい(規模や形態)
 - パーゴラは屋根と冬場の北風を避けるものを。中にはベンチと机がほしい
 - この地域は公民館がなく不便を感じる。集会所はぜひ入れてほしい
 - 小塚山研修所を改築してもらえるなら、新公園と一体化した管理施設に
 - 住民が管理運営に参加していくためにもちゃんとした管理棟は必要
 - 世田谷とは条件が違う。パーゴラでなく地域のコミュニティのための施設(集会所)は必要
 - 公園を横断する道路には、道路標識をいれてほしい(子供の飛び出し防止)
 - 公園の開園、閉園はオープン(出入り自由)なのか？
 - 外かん道路との境界の植栽は公園にあわせてほしい
 - 外かん道路敷地との連携→公園と一体で有効活用ができるように
- 《今後の課題》
- 身障者駐車1区画を確保する
 - 水の流れのエッジに部分的に低木や地被類を植栽する
 - 半屋外的なしつらえの四阿の検討をする
 - 外かん道路と公園との一体化利用と景観調和に向け国との調整を継続する



エコブリッジ周辺の構成

- 《WSでの意見》
- 提案の位置でOK
 - 擁壁の位置や植栽など、いろいろと配慮してもらえたのがよかった

植栽

- 《WSでの意見》
- シンボルツリーは枝張りよく、木登りできる高さにしてほしい
 - ムラサキシキブ、トウネズミモチ、アカメガシワなど実のなる木がほしい(動物・鳥のため)
 - 水路の脇にはハンノキを適宜植栽してほしい

公園の目玉

- 《WSでの意見》
- 昔の原風景
 - 人の集まる公園
 - 水があることが公園の目玉
 - 小学生が博物館の見学に来る。こちらの公園も楽しんでほしい
 - 散歩の方向けのマップがほしい(季節ごと)
 - 日常的に散歩。保育園児の親が集える場になる

その他

- 《WSでの意見》
- 道路ができれば人の流れも変わる。公園の利用は近隣だけではない
 - 防犯や事故の管理をどうするのか。
(誰がやるのか)
 - ゴミ箱は設置しない
 - 他の公園で痴漢があったので、防犯(照明等)が必要
 - 年間を通じての公園のメンテナンスは？
 - 火事があったので管理が必要(四阿)
 - 湿性植物、野草園の管理はボランティア？それとも市？
 - 除草に費用はでる？
(シルバー人材を利用？)
 - 既存の小塚山公園でボランティア参加している方に話を聞かないのは何故？
 - 花壇などの維持管理は市が行う→市民で行ってもらえるならそれも可能
 - 来年以降公園開園までの間(平成29~33年)、市民が関わりをもつ機会は？→未定
 - 開園前からの関わりをもつ→市民の関わりについて市に提案する

※このページの平面図は、ワークショップ当日に提示したものを使用しています。計画案の最終版は別紙の平面図を参照下さい。

**小塚山公園 拡充予定地
基本設計平面図 170200**



※この平面図は基本設計図面であり、今後の詳細設計等で変更になる場合があります。

小塚山公園 拡充予定地
基本設計鳥瞰図 170200



平成 14 年に行われた公園のコンセプトと方針

コンセプト：**緑と水をつなぎ、里山の自然を育み継承しながら、地域の全ての人々が安心して集い交流する『環境ふれあい公園』**

- 方針 1：『堀之内貝塚公園、小塚山公園、じゅんさい池緑地を緑の散策道で結び、日常生活や自然散策に便利な公園づくり』
- 方針 2：『安心して暮らせる生活環境の向上のために安全で清潔な公園づくり』
- 方針 3：『子供からお年寄りまで全ての人々が自由にのんびりとくつろげる明るくて開放感のある公園づくり』
- 方針 4：『緑豊かな地域の自然とふれあい、四季の変化を享受できる公園づくり』
- 方針 5：『自然と楽しく遊べる里山体験を基調とした個性豊かな公園づくり』
- 方針 6：『自然と共生する暮らしを継承するために谷津の自然景観とそこに生きる動植物を守り育む公園づくり』
- 方針 7：『地域の歴史風土を学べる原風景を保全するために谷津地形を活かした公園づくり』
- 方針 8：『地域の共有財産である公園の管理に主体的に参加する公園づくり』